

## 平成29年度 第1回函南町立図書館協議会 議事録

- 1 日 時 平成29年7月19日(水) 15時～16時30分
- 2 会 場 函南町立図書館 2階 研修室
- 3 出席者 委員 齋藤 修 学校教育関係者  
富永 和彦 学識経験者  
今泉 良三 社会教育関係者  
石田 和久 学識経験者  
榎本 政夫 社会教育関係者  
稲葉 優子 家庭教育活動者  
教育長 潮木 邦雄  
事務局 大沼 裕幸  
牧野 満枝
- 4 公開・非公開 公開  
の 別
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 内 容
  - (1) 開会
  - (2) あいさつ 潮木邦雄教育長
  - (3) 委嘱状交付 潮木邦雄教育長  
正副会長選出 会長 石田 和久、副会長 稲葉 優子
  - (4) 大沼裕幸 生涯学習課長兼館長 図書館運営の基本方針及び図書館協議会の趣旨説明
  - (5) 報告事項
    - (1) 平成28年度事業報告
      - ・平成28年度函南町立図書館利用状況
      - ・平成28年度末蔵書数
      - ・平成28年度実施業報告
  - (6) 協議事項
    - (1) 平成29年度事業計画
      - ・新規事業 幼稚園親子図書館見学会について
      - ・夏休みイベント案内
      - ・読書ノートについて
    - (2) その他図書館事業全般について

各委員から出されたご意見

委員 全国の図書館において学校記念誌の切り取りの被害報道がありました。函南の図書館ではいかがでしたか。

事務局 当図書館では、被害はありませんでした。しかし、近隣図書館で被害が確認されたので、事務室内に保管場所を移し、ご利用の際はレファレンスコーナー

を、ご利用していただくこととしました。

委員 図書館利用者数の年代区分ですが、60歳以上でひとまとまりとなっている。もう少し細かく区切ることができないか。60代は、働いている方が多い年代である。もう少し細かく区切ると利用者の割合構成が、もっと考察できる。

事務局 統計の年齢区分は、システム上の規定値となっている。現在システム変更について、業者と協議している。今後可能かどうか確認していきたい

委員 1日あたりの利用者数が示されているが、函南町と同規模図書館の利用状況はどうなっているか。

事務局 静岡県立図書館の統計によると、比較数字が個人への延貸出人数となりますが、平成28年度数値として、函南町が95,111人、伊東市57,459、伊豆の国市中央29,120、小山町11,195、清水町21,222、長泉町56,372、熱海市34,815、吉田町47,774となっている。同規模人口の図書館としては、函南は利用率が高い状況であると言える。

委員 新規事業として幼稚園親子図書館見学会を行っている。保育園に対しては、どうなっているのでしょうか。

事務局 今回の事業計画の段階で保育園も対象になっている。保育園長との話合いで、保育園保護者は働いているため参加がむずかしい。図書館の事業趣旨としては、親子で開催したい。図書館は、土日開催でも受け入れ可能である。今回先に幼稚園を開催し、課題点を挙げながら今後保育園と協議することになっている。

委員 子どもの格差の問題が取り上げられている。遠隔地の小学校の子ども達の利用に関するものも同様である。ここの施設にやって来ることができる子ども達は幸せである。今回幼稚園親子を対象に行ってくれたのは、大変良いと感じた。保育園についても、是非考えていただきたい。

図書館は、町の費用で運営されているので、図書館を利用する人としらない人では、差ができる。図書館に来られない利用者にとっての事業は、今後も考えて実施する必要がある。老人福祉施設への出張貸出などもよいのではないか。

委員 幼稚園親子対象の事業は良いと思った。保育園についても、忙しい母親たちへの図書館利用のきっかけづくりとなるので、今後是非実施していただきたい。

学校司書連絡会は、年間何回か開催されている。数年前には、読書アドバイザーも一緒に会議に参加し、学校での読み聞かせについて意見交換したことがあった。今後そのような機会は、設けられないのか。学校へ読み聞かせに行くにあたり、学校としての要望などを聞いて、取り入れていきたい。

事務局 司書連絡会は、年間4回開催している。その内1回は司書教諭も参加してもらっている。平成30年度は、子どもの読書活動推進計画改訂の年となる。そのおりに、是非意見を頂きたいので参加をお願いしたい。

委員 丹那小学校への出張貸出は、3年目となる。子ども達にとって大変好評な事業である。特別な日として、子ども達もテンションを上げて待っている。保護者参観日にも行っているため、保護者に対しても読書啓発になっている。

丹那・桑村小の子ども達の生活動線から、図書館はずれているので、今後とも是非継続願いたい。

議長 読書ノートについてのご意見を伺いたい。サイズが小さいのではないか。  
事務局 先日の司書連絡会でもモニタリング調査の結果から話し合ったが、大人の考えと子どもの実態は異なっていて、子どもにとっては出版社を書くことも大変なようであった。

別添資料の静岡新聞の「読書」に関する全国世論調査結果をみると、漫画と雑誌を除いた本を読む冊数が0冊の人が33%となっており、本離れの深刻さを裏付けている。前回の協議会で子ども達の図書館利用を増やす方策として、漫画を収集したらどうか。との意見をいただきました。県立図書館を通して調査したところ、積極的に漫画を収集している図書館は、県内には無かった。委員の皆さんからいただいたご意見でしたが、当図書館としては、今後漫画を積極的に収集できないかもしれない。ただ、漫画でわかりやすく書かれたベストセラー本などは、今後選書を考えていきたい。

図書館利用者を増やす方策として、当図書館が行っているのが、幼稚園全新生入園児に対して利用者カード作成を行うこと、幼稚園・小学校図書館見学会での本の貸出事業前の利用者カード作成がある。待っているだけでは、なかなか利用者は増えていかないので、外へ出て働きかけていきたい。委員からご意見のあった老人福祉施設への貸出等も今後考えていきたい。

夏休み事業の中で、三島南高校、田方農業高校の生徒さん達が、当図書館に体験学習に来ます。高校生への利用啓発のひとつになればと考えています。

委員 私は図書館を大変利用している。職員の対応について、笑顔で対応してくれれば、多少時間がかかってもよいと感ずる。マニュアル化されていて正確な仕事をしてくれても、笑顔もない対応では感じがよくない。図書館職員はみな丁寧にやってくれていると感ずる。

事務局 図書館職員の接遇研修は、度々行っている。前年度は、函南町出身の元アナウンサーを講師に招いて行った。今後も職員に対しての接遇研修は、継続して行っています。

委員 ベストセラー本についての質問です。ベストセラー本は、予約が多く順番がまわってくるのに大変時間がかかります。図書館では何冊購入しますか。

事務局 概ね10人くらい予約がつくと2冊目を購入します。ブームも去るし、限られた資料費ですので同一本の購入は2冊までとしています。

委員 ベストセラー本は、予約が多くつくので、最初は貸出期限を通常の2週間から1週間にしてみてもどうか。

事務局 子どもの夏休み課題図書は、貸出期限を通常の2週間から1週間に変更している。システム的には、可能であるので今後検討していきたい。

委員 新聞に書評が出るが、どの新聞の書評を参考にしているか。

事務局 一概には言えないが、利用者は静岡新聞などが多いかもしれない。

委員 遠隔地への移動図書館車の要望はないか。

事務局 開館してから、その要望を聞いたことはない。開館計画の段階では、移動図書館車のご意見もあった。話し合いの中で、移動図書館車への補助事業も無い状況にあつて費用対効果を考え、移動図書館車の導入はしないこととなった。代替え案として現在、遠隔地にある小学校への出張貸出事業や、来館困難な障がいのある方への宅配サービスを行っている。

議長 たくさんのご意見いただき、ありがとうございました。これで事務局にお返しします。

課長 本日は、たくさんのご意見ありがとうございました。いただいたご意見は、今後の図書館運営に活かしていきます。

現在、県立図書館が緊急閉館となったため、今後相互貸借に少し影響が出てくるかと思えます。また、今年度は図書館システムの更新年となっています。現在、更新事務を進めているところです。更新時期は、来年2月の蔵書点検期間を利用する予定です。利用者の皆さまには、ご迷惑をかけないように準備して進めていきます。

事務局 次回開催は、来年3月末頃を予定しております。日程が決まりましたら改めて通知させていただきますので、よろしく願いいたします。

協議会は、年2回しかありませんので、年度途中でもお気づきの点等ございましたら、お気軽に事務局までご意見をお寄せください。

## (7) 閉会